

2008年6月3日
イオン株式会社
イオン北海道株式会社

イオンの環境保全の取り組みについて

－「イオン苫小牧ショッピングセンター」がエコストアとしてリニューアルオープン－

イオンは、本年3月に「イオン温暖化防止宣言」を発表し、2012年度にCO₂排出総量を2006年度比で30%削減という数値目標を掲げました。この目標を達成するために、“店舗”、“商品”、“お客さま”の観点からCO₂削減について本業を通じて様々な施策をより一層推進しています。

イオン北海道は「イオンの温暖化防止宣言」を具現化すべく、2008年3月より、環境・社会貢献部を設立し、地球温暖化防止に向けてCO₂削減の目標を掲げ、行政、市民団体、お客さまとともにさらに積極的に環境保全の取り組みを推進しています。

イオンは、今後も、次世代の子供たちによりよい地球環境を引き継ぐことを目指し、地域の皆さまとともに行う環境保全活動を推進するとともに、環境や生活に関する情報の提供や社会貢献活動を積極的に推進してまいります。

<イオン北海道の環境保全に関する具体的施策>

1. ジャスコ苫小牧店で、6月5日（木）より食品レジ袋無料配布中止を開始いたします。
また、本年度中に伊達、室蘭、登別のポスフル3店舗で、さらに2010年には半数の15店舗でレジ袋無料配布中止を行う予定で、グループ目標の買物袋持参率平均50%以上の達成を目指します。
2. 北海道洞爺湖サミット道民会議2008（会長：高橋はるみ北海道知事）が主催する、環境総合展2008〔6月19日（木）から6月21日（土）まで札幌ドームにて開催〕に出展します。イオン北海道は、「森」をテーマに環境保全の取り組みを伝えてまいります。
3. 7月1日（火）から千歳市で開催予定の「^{ジェイエイト}J8サミット」の成功を祈念し、開催会場に隣接するポスフル千歳店の沿道に植樹し、世界の子どもたちをお迎えいたします。
また9日には、^{ジェイエイト}「J8サミット」参加の子どもたちと「イオンチアーズクラブ」のメンバー合わせて約100名が、支笏湖にてともに植樹いたします。
4. 「イオン苫小牧ショッピングセンター」を7月3日（木）にイオンの“エコストア”としてリニューアルオープンいたします。従来の店舗よりCO₂排出削減20%を実現する既存店舗の“エコストア”化に、イオングループとして初めて取り組みます。

ご 参 考

1. イオンの“エコストア”

《コンセプト》

- ①「変革と技術革新」・・・新技術を用いて積極的に経験を蓄積します。
- ②「学習と協働」・・・子どもたちが環境に関心をもつ働きかけ・地域コミュニティとの連携を強めます。
- ③「情報発信」・・・イオンが実施してきた環境保全活動等を、わかりやすく体系的に発信します。

《8つの視点》

- ①「省（創）エネルギー」
--その土地に最も適した風・太陽・水等の自然エネルギーを、積極的に利用します。
- ②「環境効率」
--環境負荷の小さい材料を使ってお店を作ります。
- ③「自然環境」
--自然の光や音や水を取り入れる工夫を凝らします。
- ④「景観・生物多様性」
--一人だけでなく、たくさんの生きものが集まる空間を提供します。
- ⑤「安全・安心・環境配慮」
--環境に配慮した商品を、積極的に皆さまのもとへおとどけます。
- ⑥「廃棄物の地域循環」
--イオンから働きかけて、地域の皆さま（行政・NPOも含む）とともに廃棄物の地域での循環に取り組みます。
- ⑦「情報開示」
--お店・イオン全体が取り組む環境に関わる情報をわかりやすく皆さまにお伝えします。
- ⑧「21世紀型コミュニティ」
--レジ袋のいらない（＝資源のムダ使いをしない）お店をめざします。

2. イオン苫小牧SCにおける主な取り組み

「地中熱利用換気システム」

--外気を地中パイプにて冷却し、建物内に供給するシステムで、地下の冷たい空気を売場に入れて冷風を送ることで、夏季の省電力を図ります。

「ソーラーパネル（太陽光発電）」

--自然太陽光を利用した発電により省電力を図ります。

「ガスコージェネシステム」

--環境負荷の少ない天然ガスを用いて発電し、その際に発生する排熱を冷暖房に利用する省エネルギーシステムを採用しています。

「冷凍機エコオイルシステム」

--冷媒ガスを気化熱で冷却し、夏季の高圧カット及び効率アップにより省電力に寄与します。

「冷温水ポンプインバーター」

--負荷に応じた回転数制御を行い、無駄な電力を削減します。

「GHP制御」

--冷え過ぎ、暖め過ぎ等、スケジュール機能により営業時間外の無駄な稼動を防止します。

「BEMSの導入」

--環境エネルギー管理システム（見える化）導入により、エネルギー利用を削減します。

「LEDサイン」

--AEON、JUSCOなど外部照明サインの光源として省電力・高寿命のLEDサインを使用し、省電力を図ります。

「エコインフォメーション」

—映像情報を用いて環境保全活動への取り組みをわかりやすくお知らせします。

「再生材利用」

—S Cの各所で再生材を利用することで、環境負荷の低減を図ります。廃材のプラスチックやゴムを再生した「再生プラスチック製車止めブロック」、「再生ゴムバリカー」などを使用しています。

など全部で32項目を導入します。

※詳細は別紙資料をご参照ください。

イオンの“エコストア”の一例



イオン鹿児島ショッピングセンター
(2007年10月オープン)